

授業科目名 <英訳>	インド洋世界論 Studies on the Indian Ocean World			担当者氏名	人文科学研究所 教授 稲葉 穰				
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講期	後期	曜時限	火4	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
<p>文献研究は、地域研究においてフィールドワークと並んで重要な作業である。この授業では16世紀以降の南アジアに関する文献資料（ペルシア語あるいは英語）を読解することを通じ、文化交流と文化変容のあり方を考察する（なお、この講義はグローバル地域研究専攻南アジアインド洋世界論講座の授業である。）</p>									
【授業計画と内容】									
<p>インド世界の近代文化の淵源の一つとして重要なムガル朝宮廷文化のあり方を考えるため、16世紀以降に著されたペルシア語文献、特にアブー・アルファズル著『アクバル会典』（英訳有）の宮廷文化に関わる部分を会読し、そこに見えるインド伝統文化とイスラム文化の融合のあり方を考える。</p>									
【履修要件】									
<p>インド・イスラム文化に関する基本的な知識を有していること。古典ペルシア語が読める方が望ましい。</p>									
【成績評価の方法・基準】									
<p>出席者にはテキストの訳読と原稿作成を求め、それによって評価する。進度次第で、期末にレポートを課す。</p>									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
<p>（参考書） 会読用テキストについては、授業時にコピーとして配布する。</p>									
<p>（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））</p>									
<p>内容としてはテキスト会読と、その内容に関する解説を主眼とするため、出席者には該当箇所を十分予習してくることが求められる。</p> <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									